



2005年5月10日

各位

会社名 住友重機械工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 日納 義郎
コード番号 6302
問合せ先 IR広報室長 大島 秀夫
TEL 03-5488-8219

2005年～2007年度 中期経営計画「躍進07」について

当社は、「2002年～2004年度 中期経営計画」を進めてきましたが、諸施策の実施により、当初掲げた数値目標を大きく上回ることができました。さらなる成長に向け、このたび2005年～2007年度 中期経営計画「躍進07」を策定いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2005年～2007年度 中期経営計画「躍進07」の目的

当社グループは、前中期経営計画で、低収益・不採算事業の縮小撤退を進め、経営資源を傾斜配分することにより、精密制御機械・コンポーネントに代表される新商品の収益拡大に取り組んでまいりました。これにより成長への足固めはできましたが、「躍進07」ではさらにレベルの高いかつ安定的な成長を図ります。そのために、当社グループ内の事業間の連携を強めてシナジー効果をさらに高め、世界を舞台に成長し続ける企業を目指すとともに、世界で通用する魅力ある商品の創出に努めてまいります。

2. 「躍進07」 財務数値目標

最終2007年度において、以下の数値目標の達成を目指します。

2007年度 連結営業利益目標 600億円以上

2007年度末有利子負債残高 1,500億円以下

なおROICを引き続きグループの経営指標とし、 $ROIC > WACC$ を継続するとともに、最終的にROIC10%以上を目標とします。

3. 「躍進07」 グループ経営戦略

上記の財務数値目標達成のために下記の戦略を確実に実行します。

(1) 事業分類の見直し

当社グループ内の事業を、「変減速機等機械装置のベースとなるキーコンポーネント」「プラスチック機械等の装置」「各種機械を統合するトータルシステム」の3つの分野に大きく分類

し直し、各事業の当社グループにおける位置づけを明確にします。

(2) 顧客価値の創造

前中期経営計画に引き続き、顧客価値創造型企業を目指し、一流商品を市場へ数多く提供します。このために各事業部門において組織的知識創造力を高めます。

(3) 垂直統合型バリューチェーンの構築

上記のキーコンポーネント 装置 トータルシステムにて、各事業間の連携を加速させるとともに、「垂直統合型事業構造」を目指します。

(4) キーコンポーネント事業を拡大・強化

前中期経営計画において、精密制御機械・コンポーネントは大きく伸長し、変減速機、プラスチック機械に次ぐ、第3の収益の柱となりました。昨年10月よりこの制御・コンポ-ネント部門を分離し、メカトロニクス事業部を発足させました。この部門の保有する高度の制御技術力にて、上記垂直統合型バリューチェーンの核を担うとともに、収益の拡大を図り、第4の柱を目指します。変減速機の伸長とあわせ、キーコンポネント事業を拡大・強化します。

<注>

ROICは投下資本税引後利益率であり、投下資本(株主資本と有利子負債の合計金額)に対してどれだけ利益を出しているか、資本のコストに見合う収益性があるかを示す指標です。

WACCは加重平均投下資本コストであり株主資本コストと有利子負債にかかるコストを示します。

以 上